

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

(年少組)

幼稚園番号 1973410

園名 子どもの森幼稚園

1. 活動のテーマ

「光」

テーマ設定の理由

園内外には光が多く差し込み、遊びの中で子ども達が興味関心を持てる環境にあるため、遊びの中で子どもの気づきも多く、生活の中野電気・陽・火等の光。保育の中の室内に入ってくる光。自然に恵まれた園庭で見られる光。地域の緑の多い公園での光。水の中や色に見られる光の不思議や疑問の声、子どもの「わくわく」に向き合って、子ども達の不思議や探求心を一緒に楽しめる各学年（3歳児～5歳児）共通のテーマとして設定しました。

活動スケジュール

6月	絵具の色の变化に気づく 黒の色画用紙の上と透けているビニール	(導入)
8月	粘土にあいた穴 お店屋さんで売っているもの	

活動の内容

6月7日(金) 「フィンガーペインティング」

準備物：・黒の画用紙
・ビニール
・絵具 ・雑巾・

目的、ねらい

下の素材の違いや、絵具の色の違いで光を通したり、通さなかったりする感じに気づき、興味関心を持ち、友達や保育士と情報を共有し、喜んで表現する事を楽しむ。

手順

黒い色画用紙の上に黄色の絵具を垂らし、手でのばしたり絵を書いてみる。
絵具の黄色が光の様に見えることに気づく。

同じように白い絵具を垂らし、手で伸ばしたり絵を書いてみる。
白い絵は不透明なので光らないことに気づく。

ビニールの上でも同様に黄色と白い絵具でフィンガーペインティングをして遊ぶ。
透明だと光がより感じられることに興味や関心を持ち、友達と会話をしたり、より大きくたくさん絵を書いて、光の取り込みを感じて遊ぶ。

振り返り（振り返りによって得た先生の気づき）

はじめは、絵具が苦手な子どももあり、なかなか思い切り、色を広げる事ができなかったが、少しずつ色を伸ばしているうちに、黄色が金色のキラキラに見える子どもが出てきて、虹だ「金だーよ、キラキラしてる」「金貨だ」等と思い思いに話した。
白色の絵具になると「光らないねー」などと言いながら絵を書いていた。

ビニール素材になると、光が差し込み透明になる黄色の絵具に喜び、大はしゃぎの子ども達だった。白い絵の具も指に力を入れると透き通り、光を通すことに興味深々。
美術講師の声掛けや、合いの手にうきうきワクワクの子ども達だった。
これをきっかけに光のテーマが展開しはじめる。

活動の内容

8月30日(金) 「ねんどのおみせやさん」

準備物：・粘土 ・粘土板
 ・紙皿 ・ストロー

目的、ねらい

粘土の感触を楽しみながら、ドーナツやジュースなどを作って遊ぶ中で、穴のあいた所から光が漏れていることに気づくなど、遊びの中で感じる光にも気づけるように、講師や保育士が子ども達の言葉を拾い、光を感じながら活動する感性を引き出す。

手順

粘土遊びの中で、粘土を柔らかく捏ねていく。

楽しくテーマに沿って形に仕上げていく。

形になる前にやぶけてしまったり、形にした食べ物に穴があくと そのから向こう側が見えることに、失敗としてとらえるのではなく遊び心としてとらえられるように言葉をかけて、保育士も一緒に覗いて遊ぶ。

振り返り（振り返りによって得た先生の気づき）

見えるためには、暗いところではなく明るいところでないと見えないこと（光がないと見えないこと）に気がついたり、気が付いたことをみんなで喜んで共有したりすることを喜ぶことができた。

日々の生活の中や、活動の中でも「光に気づける」探索心を育てられるよいきっかけとなったと思う。